

# 放射性ヨウ素・セシウム安全対策 アドホック委員会活動の現況

-放射能汚染に対する地域住民がとり得る  
防衛策の開拓-

西澤邦秀  
放射線環境・安全カウンスル

# 本委員会の目的

東日本大震災に伴う福島原発事故により大気中に放出された

放射性ヨウ素・セシウムによる環境汚染地域の一般住民の日常生活に対する不安に対処するために関連する事項を調査・研究し、可能な限り対応策を提言することである。

# アドホック委員会設立の経緯

## 3月11日 マグニチュード9.0の地震が発生

東電福島第1原発:1号機、2号機、3号機が自動停止、外部電源を失う。

13基の非常用ディーゼル発電機は大津波で1基のみ稼動

3月12日 1号機周辺でセシウムが検出、核燃料の一部が溶け出した可能性

3月13日 3号機で冷却装置が停止、燃料棒が露出し始める

## 3月14日 3号機の建屋が爆発

3月15日 2号機の建屋が爆発

～ 個別に情報収集、委員会設立準備

3月21日 学会長、委員会設立了解

3月23日 委員会設立、活動開始

# 委員会活動の概要(1)

## (1) 活動方針

1. 目的を達成するために必要な資料収集、新規実験等をおこなう。
2. 研究結果は、学会長宛てに報告書として報告する。
3. 新規の実験のデータは、世界的に見ても極めて貴重な経験と資料になる可能性があるので、極力論文として発表する。

## 委員会活動の概要(2)

### (2) 研究課題

1. 測定方法
2. モニタリング
3. 線量評価
4. 除染方法
5. 体内汚染の予防策
6. 市民に対する日常生活に関するアドバイス  
(メンタルケア委員会へ委託)

# 活動の現況

1. 水分析班 : 中間報告書
2. 野菜分析班 : 中間報告書
3. 内部被曝分析班 : 中間報告書
4. 被服分析班 : 現状と今後の方針
5. 土壌分析班 : 現状と今後の方針
6. 茶葉分析班 : 活動中